

- 問1 北陸地方において、歴史的に「稲作の単作」が一般的であった理由として、自然環境の面から述べた説明として最も適切なものはどれですか。
(2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 冬の積雪が厳しく、米を収穫した後の裏作として麦などを栽培することが困難であったため。
2. 平地が少なく急峻な地形が多いため、土砂崩れを防ぐ目的で一年中水田に水を張っておく必要があったため。
3. 夏の降水量が極端に少なく、水田以外の用途に土地を利用するための灌漑施設が不足していたため。
4. 年間を通じて温暖な気候であり、米の二期作を行うよりも一回の稲作に集中した方が収益性が高かったため。
- 問2 中部地方の各県の統計において、愛知県よりも人口規模が小さく、日本海側に位置する石川県の特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。農業産出額の主要品目に着目して答えなさい。
(2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 中部地方で最も人口が少ない県であり、米の産出額が全国で最も高い。
2. 愛知県よりも人口が多く、農業産出額のほとんどが畜産によって占められている。
3. 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。
4. 内陸部に位置するため、米の生産は行われず、果実の産出額が県全体の9割を占めている。
- 問3 日本海に面する福井県の鯖江市では、特定の製品の製造が地場産業として発達し、国内シェアの約9割を占めています。この地域で特に生産が盛んな製品はどれですか。
(2021年 三重県公立入試 類似)
1. 眼鏡のフレーム
2. 輪島塗の漆器
3. 陶磁器（瀬戸物）
4. 真珠の養殖
- 問4 2023年度の統計において、発電電力量が多い上位4県を岐阜県、富山県、新潟県、長野県といった中部地方の県が独占している発電方式について、その特徴として適切な記述を選んでください。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 石炭や天然ガスなどの化石燃料を燃焼させて蒸気を作り、タービンを回して発電する。
2. ウランを燃料として利用し、一度の発電で大量の電力を安定して供給できるが放射性廃棄物が出る。
3. 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。
4. 天候に左右されやすく、夜間や無風の状態では発電が不可能になるという課題がある。
- 問5 中部地方の中央部には、標高3000メートル級の険しい山々が連なる3つの山脈があります。これらを総称して「日本アルプス」と呼びますが、その構成として正しい組み合わせを選択肢から選びなさい。
(2023年 山形県公立入試 類似)
1. 鈴鹿山脈・紀伊山脈・中国山地
2. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈
3. 奥羽山脈・出羽山脈・越後山脈
4. 石鎚山脈・剣山地・讃岐山脈
- 問6 日本の主な工業地帯・地域における製造品出荷額の割合を示した統計において、機械工業が全体の約7割という突出した高さを示し、特に輸送用機械の製造が中心となっている工業地域はどこですか。
(2023年 香川県公立入試 類似)
1. 阪神工業地帯
2. 瀬戸内工業地域
3. 東海工業地域
4. 北九州工業地域
- 問7 キャベツの栽培適温は15度から20度とされています。愛知県豊橋市のような平地では夏季の平均気温がこの範囲を大きく上回りますが、標高が高い群馬県嬬恋村では、7月から9月にかけてもこの適温の範囲内に留まります。このような気候の特性を活かして、他の地域での生産が困難な時期に野菜を栽培する農業の仕組みとして最も適切なものを選びなさい。
(2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 標高が高く気温が低いことを利用し、平地で栽培が難しい夏季に野菜を育てる高冷地農業。
2. 冬の積雪を貯蔵して夏まで利用し、冷水で農作物の成長を調整する雪冷熱農業。
3. ビニールハウスなどの施設を用いて人工的に温度を上げ、出荷時期を早める促成栽培。
4. 大消費地に近い利点を活かし、生産コストを抑えて新鮮な野菜を届ける近郊農業。
- 問8 扇状地の土地利用について、扇央（せんおう）と呼ばれる中央部分で果樹園が多く見られる一方、水田としての利用が困難であった理由を、地形の成り立ちと関連付けて説明したものとして正しいものはどれですか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 川が運んできた砂や礫が厚く積もり、水が地下へしみ込んでしまうため
2. 細かい泥が堆積して地盤が緩く、大型の農業機械を導入できないため
3. 標高が高く冷涼な気候であるため、稲の成長に必要な気温が足りないため
4. 土地が完全に平坦であり、水の流れが滞って土壌が酸性化してしまうため
- 問9 ある県の産業別就業者割合を確認すると、第2次産業の割合が約33%と全国的に見ても高い水準を示している。この県は東海工業地域に位置し、輸送用機械や楽器などの製造業が盛んである。この県として最も適当なものはどれか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 北海道
2. 沖縄県
3. 静岡県
4. 青森県
- 問10 高度経済成長期の日本で発生した四大公害病の一つであるイタイイタイ病について、その被害が深刻化した地域と、汚染の源となった河川の組み合わせとして正しいものを選択してください。
(2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 富山県の神通川流域
2. 熊本県の水俣湾沿岸
3. 三重県の日南市周辺
4. 新潟県の阿賀野川流域
- 問11 中京工業地帯の歴史的な産業構造の変化と現在の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2023年 宮城県公立入試 類似)
1. かつては造船業が盛んであったが、現在は内陸部での食料品工業や電子部品の生産が中心となっている。
2. かつては京浜工業地帯と並ぶ印刷・出版業の拠点であったが、現在は石油化学コンビナートが中心となっている。
3. かつては官営の製鉄所を中心に鉄鋼業が発展したが、現在はIC（集積回路）の生産が中心となっている。
4. かつては繊維工業が盛んであったが、現在は自動車などの輸送用機械の生産が中心となっている。
- 問12 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。
(2024年 長野県公立入試 類似)
1. 木曽山脈
2. 越後山脈
3. 赤石山脈
4. 飛騨山脈
- 問13 愛知県の渥美半島など、中部地方の太平洋側では、温室やビニールハウスなどの施設を効果的に利用して、キャベツや電照菊、メロンなどを生産する農業が盛んに行われています。このような、人工的な環境を整えた施設の中で農作物を育てる農業形態を何と呼びますか。
(2022年 山口県公立入試 類似)
1. 施設園芸農業
2. 抑制栽培
3. 近郊農業
4. 促成栽培
- 問14 中部地方で見られる農業の特色について、その背景や理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 愛知県では、都市部から遠い立地を活かして、大規模な米の産地形成が他の作物よりも優先されている。
2. 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。
3. 新潟県では、内陸の乾燥した気候を活かして、畜産と野菜の産出額が米を大きく上回っている。
4. 長野県では、冬の積雪が少ないことを活かして、工芸作物を中心とした農業産出額が最大となっている。